

地域協働合校

～子どもも大人も学び合う地域学習社会をめざして～



葉山川学習



さつまいも掘り



ニューイヤー書き初め

草津市教育委員会

地域協働合校とは

本市では、平成10年度から、学社融合^(※)の考えに立って学校・家庭・地域がそれぞれ持つ教育機能を生かしながら、子どもと大人の協働による「地域学習社会」づくり（大人と子どもが、地域文化や現代的な課題などについて学び合い・かかわり合い・よろこび合い・認め合いの協働を積み重ねる社会）を目指し、「地域協働合校推進事業」を進めています。

この取り組みにより、地域のさまざまな活動に子どもも大人もより積極的に取り組み、「地域で子どもを見守り育てる」といった意識が定着してきました。また、子どもと大人の交流を通して「学び合い、かかわり合い、よろこび合い」が積み重ねられ、互いの信頼と共感が生まれ、地域での教育力が高まっています。

※学社融合…学校教育、社会教育の双方の主体（学校、地域）がそれぞれの教育効果をあげるため、学習の場や活動などを通じて、お互いの良さを取り入れながら、一体となって教育に取り組んでいこうというものです。（例：学校の音楽発表会（学校教育）と地域のふれあいまつり（社会教育）を一緒に実施する場合など）



地域協働合校推進事業

Chapter

1

地域協働合校の基本理念

●趣 旨

学校・家庭・地域・行政が協働しあらゆる教育資源を生かしながら、市全体で子どもを育成します。すなわち「ALL草津」で子どもを育てる」ことが本市の方針です。

本市では、学校・家庭・地域の協働による「地域協働合校」の取組を通して、より良い子どもの学びと育ちをめざします。今後の地域協働合校のあり方としては、「草津市教育振興基本計画（第2期）」において「地域が支援する学校づくり」と「地域で子どもが育つまちづくり」の2つの方向性を示しています。

《地域協働合校》

地域(ちいき) ⇒小学校区、中学校区などを単位とした市内のさまざまな地域を指します。

協働(きょうどう) ⇒子どもと大人が世代を超えて知恵を出し合い、協力して共に活動します。

合校(がっこう) ⇒社会の変化に対応するために学び合う社会＝「地域学習社会」を表しています。

●基本理念

学校・家庭・地域がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、互いに協働することにより、子どもが健全に育ち、人が輝く地域づくりをめざします。

●活動方針

地域に豊かな学びを創るために、次のことを活動方針として進めます。

●地域が支援する学校づくり

地域による学校支援を推進します。

●地域で子どもが育つまちづくり

子どもと大人が共に参加する地域活動を進めます。

Chapter

2

推進体制の整備

小学校および中学校、地域（学区）ごとに、まちづくり協議会、地域の各団体や学習ボランティア・学識経験者・学校および大学関係者など幅広い組織から構成された地域協働合校推進組織において、学校・家庭・地域が連携しながら推進します。

また、市において、市内の教育支援活動等の企画や運営方法を検討する運営委員会の設置や、地域コーディネーターを各小学校に配置し、学校と地域の連携を推進します。

●地域

『子どもたちは地域でさまざまな人やものに接し、出会いとつながりの中で学びを深める。大人は子どもたちの学びを支えながら、共に学んでいこうとする。』そこに地域協働合校の理念が生きています。特別に作りあげた地域行事の場でなくても、普段のありのままの地域活動に子どもが参加することは、子どもにとって最高の経験であり教育となります。また、大人にとっても培ってきた経験や技術を発揮する場となり、生きがいにつながります。この観点から、地域の日常的な集いに子どもが参加できる機会の創造に努めます。また、まちづくり協議会を中心に、地域の特色を十分に生かしながら「人」、「もの」等の教育資源が活用される活動を実施します。

- ◆日常的な地域活動に子どもと大人が参加し、共に活動できるように努めます。
- ◆学校教育と連携した地域活動を通して子どもの健やかな育成を目指します。
- ◆地域と学校をつなぐコーディネーターとしての役割の充実を図ります。
- ◆子どもたちの居場所づくりに努めます。

●学校

学校は、子どもの学びを深める場所です。その学習の支援のために地域の大人が参画することは、学習内容を豊かにし、学びの効果を大きくします。また、学校の諸活動に地域の大人が参加する姿は、それ自体が子どもへの優れた教育になります。未来を担う子どもの教育を支援する行動は、大人自身の生き方に大きな充実感を与えるものです。この観点から、地域の方が学校と子どもの学習を支援するシステムの確立を図ります。

- ◆地域の方が学校の教育活動を支援し、子どもと関わる取組を拡充します。
- ◆地域による学校支援システムの構築を進めます。
- ◆学校と地域をつなぐコーディネーターとしての役割の充実を図ります。
- ◆家庭教育力の向上を図ります。

●家庭

地域・学校が連携し、子どものよき生活習慣確立のために指導の充実を図るとともに、参画できるプログラムを展開します。

- ◆保護者の家庭教育に対する意識向上を図ります。
- ◆家族の共通体験の機会の充実を図ります。

●コーディネーターの充実と地域における人材の発掘

地域協働合校担当者が中心となり、日常の地域の事業展開の中から、地域の教育資源「もの」の掘り起こしや、学校のさまざまな支援が図れる人材「人」の発掘を行い、人や情報をつなぐ等のコーディネーターとしての役割を実践することにより、さらに充実した地域協働合校事業の推進を図ります。

また、地域コーディネーターを配置した学校においては、直接的または間接的な教育支援活動について、地域コーディネーターが主体的に地域と学校の橋渡し役となり、学校と地域の連絡調整、地域の協力者の開拓等を推進するとともに、地域と学校の実情に応じた定期的・継続的な活動プログラムのコーディネートを図ります。

●事業評価による推進

地域協働合校事業について事後の事業評価を実施し、今後の事業展開に生かします。

●事業の精選

事業評価と合わせ、「地域協働合校」の基本理念に基づいた事業展開を図るため、事業を精選しながら、子どもと大人が共に学ぶことができるより良い環境を整えます。





公民館の家体験合校



留学生との交流



「防災合宿(流しそうめん)」



環境学習 立命館大学特別授業

わたしのまちの

輝く



アドベンチャーハウス(壁画づくり)



水墨画教室



「ハンター東っ子」フルートの演奏



りようふの道



サマースクール



「防災学習」玉川っ子検定



コミュニティ教室



ニゴロブナの新放流



毛筆に親しもう



ふなずし作り



体験活動(囲碁)



もちつき大会

子どもと大人の協働

子どもと大人が、地域文化や現代的な課題などについて、学び合い・かわり合い・よろこび合い・認め合いの協働を積み重ねることにより、人が輝き互いに高まり合える地域学習社会づくりを目指します。



昔の遊び(あやとり)



おおじフェスタ



わくわく王国「スター★ドーム」



赤ちゃん先生プロジェクト



どんぐりのひみつをさぐろう



わたしの町発見



花いっぱい学校



モンゴルの方との交流「スーホの白い馬」



おおはな名人になろう



ふるさと探検

ひとづくり

学校 家庭 地域の協働

